

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-310091

(43)Date of publication of application : 26.11.1996

(51)Int.Cl.

B41J 32/00

B41J 17/32

(21)Application number : 07-125129

(71)Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing : 24.05.1995

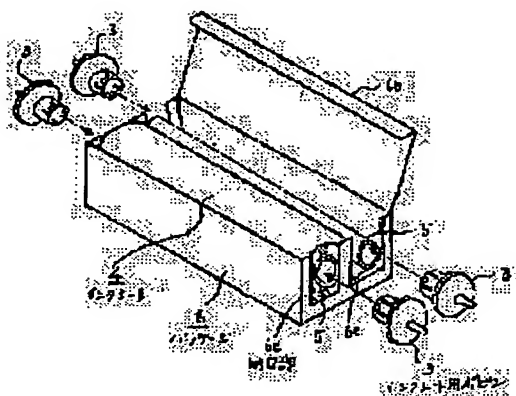
(72)Inventor: HATAYAMA YUTAKA

(54) PACKAGE FOR HEAT TRANSFER INK SHEET

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a package of an ink sheet from which the stored ink sheet is taken out of the package without holding the ink sheet directly by hand and fitted in an ink sheet cassette.

CONSTITUTION: When a stored ink sheet 4 is taken out of a package 6, sections being in contact with both faces of the ink sheet 4 are opened, and ink sheet bobbins 3 are fitted on both faces of the ink sheet 4 through the open sections, and the ink sheet 4 can be taken out by holding the fitted ink sheet bobbins 3 by hand.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-310091

(43) 公開日 平成8年(1996)11月26日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J 32/00 17/32			B 4 1 J 32/00 17/32	A A

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平7-125129

(22) 出願日 平成7年(1995)5月24日

(71) 出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72) 発明者 畑山 裕

福山市緑町1番8号 三菱電機株式会社福
山製作所内

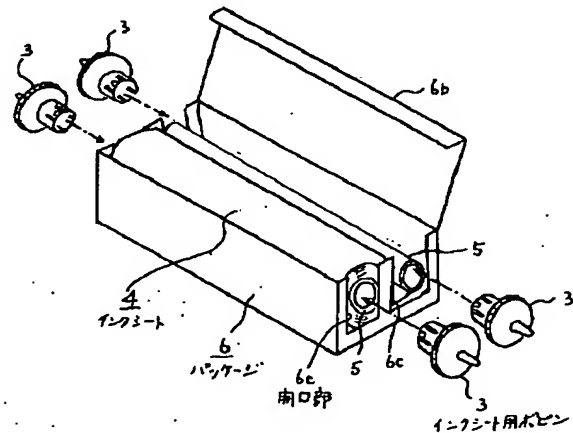
(74) 代理人 弁理士 大岩 増雄

(54) 【発明の名称】 熱転写用インクシートのパッケージ

(57) 【要約】

【目的】 インクシートを直接手で持つことなくパッケージから取出して、インクシートカセットに装着できるようにしたインクシートのパッケージを得る。

【構成】 収納されたインクシート4をパッケージ6から取出すとき、インクシート4の両側面が当接する部分を開いて、その開いた部分を通してインクシート4の両側にインクシート用ボビン3を嵌装し、嵌装したインクシート用ボビン3を手で持ってインクシート4を取出すことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 熱転写用インクシートを収納し、上記熱転写用インクシートの両側面に対向する部分が開口可能に形成された収納部を備え、上記収納部の開口部を通して上記熱転写用インクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、上記装着したインクシート用ボビンを把持して上記熱転写用インクシートを取出すようにしたことを特徴とする熱転写用インクシートのパッケージ。

【請求項2】 収納部は紙箱で形成され、熱転写用インクシートの両側面に対向する部分には開口部切取り用のミシン目を設けたことを特徴とする請求項1記載の熱転写用インクシートのパッケージ。

【請求項3】 収納部はプラスチックフィルムで形成され、熱転写用インクシートの両側面に対向する部分には開口部切取り用の引裂き紐を設けたことを特徴とする請求項1記載の熱転写用インクシートのパッケージ。

【請求項4】 熱転写用インクシートを収納し、上記熱転写用インクシートの両側面に対向する部分に開口部が形成された収納部本体と、この収納部本体を開口部と共に覆う蓋体を備え、上記蓋体の開放時にこの収納部本体の開口部を通して上記熱転写用インクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、上記装着したインクシート用ボビンを把持して上記熱転写用インクシートを取出すようにしたことを特徴とする熱転写用インクシートのパッケージ。

【請求項5】 収納部はプラスチックフィルムで形成された内袋と、この内袋を収納する外箱とにより形成され、熱転写用インクシートの両側面が対向する部分には、上記内袋と外箱とを同時に切取る開口部切取り用の引裂き紐を設けたことを特徴とする請求項1記載の熱転写用インクシートのパッケージ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、ロール状の熱転写用インクシートを需要者に供給するためのパッケージに関するものである。

【0002】

【従来の技術】図11は従来のパッケージからロール状の熱転写用インクシート（以下インクシートまたは熱転写用インクシートという）を取出す要領を示す説明図、図12はインクシートにインクシート用ボビンを嵌装する要領を示す説明図、図13は、例えば実開平2-135255号公報に示されたようなインクシートカセットの分解斜視図である。図において、1a、1bはインクシートカセットの上フレーム、2はインクシートカセットの下フレームで、軸受部2a、2bを有する。3はインクシートの軸心となるインクシート用ボビンで、軸部3aを有する。4はインクシートで、ロール状に巻回されたインクシート4aと巻取り用の巻心5とをセットにしたものである。なお、インクシート4aは巻心5に

インクシートが巻回されたものである。6はインクシート4のパッケージであり、この場合、インクシート4の大きさに合わせて形成された紙箱である。

【0003】次に、インクシート4を紙箱製のパッケージ6から取出して、インクシートカセットに装着する要領について説明する。通常、紙箱製のパッケージ6からインクシート4を取出して図13のインクシートカセットに装着するときは、図11及び図12に示すように手で持ってなされる。即ち、先ず、パッケージ6の蓋を開いて、インクシート4を手で持ってパッケージ6から取出す。次に、インクシート4aの一对の巻心5、5にインクシート用ボビン3を嵌込むが、この場合もインクシート4を手で持って作業がなされる。インクシート用ボビン3を嵌込んだインクシート4は、図13に示すように、インクシートカセットの下フレーム2に装着するが、このときは両端のインクシート用ボビン3を手で持つことにより、インクシート4に手を触れることなく装着できる。なお、この装着は、インクシートカセットの下フレーム2の軸受部2a、2bにインクシートボビン3の軸部3aを載置し、その上に上フレーム1a、1bを覆うことにより装着が完了する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記のような従来のインクシートのパッケージでは、インクシート4をパッケージ6から取出すときは勿論のこと、インクシート4にインクシート用ボビン3を嵌込む際にも、インクシート4を直接手で持たなければならない。このため、インクシート4に、手の脂や塵埃が付着したり、インクシート4にしわあるいははきずが入る原因にもなるなどの問題点があった。

【0005】この発明は、上述のような課題を解決するためになされたもので、パッケージからインクシートを取出すとき、インクシートを直接手で持つことなくパッケージから取出して、インクシートカセットに装着できるようにされたインクシートのパッケージを提供するものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明に係るインクシートのパッケージは、熱転写用インクシートを収納し、熱転写用インクシートの両側面に対向する部分が開口可能に形成された収納部を備え、収納部の開口部を通して熱転写用インクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、装着したインクシート用ボビンを把持して上記熱転写用インクシートを取出すようにしたものである。

【0007】また、パッケージが紙箱で形成されたものにおいて、インクシートの両側面が対向する部分にミシン目を設け、そのミシン目を切り取ることにより開口部を形成し、開口部を通してインクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、装着したインクシート用ボビンを手で持ってインクシートを取出すことができるよう

になされたものである。

【0008】さらに、パッケージがプラスチックフィルムで形成されものにおいて、インクシートの両側面が対向する部分を切取ることができるように引裂き紐を設け、その部分を切り取ることににより開口部を形成し、開口部を通してインクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、装着したインクシート用ボビンを手で持ってインクシートを取出すことができるようになされたものである。

【0009】また、パッケージが、容器本体と、この容器本体を覆う蓋体とにより形成されたものにおいて、内箱の熱転写用インクシートの両側面が対向する部分に開口部を設け、蓋を開いたとき上記開口部が開口状態になるようにし、上記開口部を通してインクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、装着したインクシート用ボビンを手で持ってインクシートを取出すことができるようになされたものである。

【0010】さらに、パッケージが、プラスチックフィルムを用いて形成された内袋と、この内袋を収納する外箱とにより形成されたものにおいて、インクシートの両側面が対向する部分に、内袋と外箱とを同時に切取ることができるように引裂き紐を設け、その部分を切り取ることににより開口部を形成し、開口部を通してインクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、装着したインクシート用ボビンを手で持ってインクシートを取出すことができるようになされたものである。

【0011】

【作用】上記のように構成されたインクシートのパッケージにおいては、インクシートの両側面が対向する部分を開いて、インクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、装着したインクシート用ボビンを手で持ってインクシートを取出すことにより、インクシートを直接手で持つことがなくなる。

【0012】

【実施例】

実施例1. 図1ないし図4はこの発明の一実施例であるインクシートのパッケージを示すものであり、パッケージの蓋を開いてインクシートを取出す手順の説明を兼ねた斜視図である。図において、インクシート用ボビン3、インクシート4、巻心5は上記従来の技術で説明したものと同一のものであり、その説明を省略する。6は紙箱で形成されたパッケージであり、インクシート4の両側面が当接する部分を切り取ることができるようにミシン目6aが設けてある。6bは蓋、6cはミシン目6aを切取ることにより形成された開口部である。

【0013】次に、上記のように形成された紙箱6からインクシート4を取出してインクシートカセットに装着する要領について説明する。図1はインクシート4が需要者に供給された状態を示す。インクシート4を取出すときは、図2に示すように、蓋6bを矢印方向に開き、

ミシン目6aを切取って開口部6cを形成する。この状態から、図3のように、開口部6cを通してインクシート4の巻心5にインクシート用ボビン3を嵌装する。続いて、図4のように、インクシート4の両側のインクシート用ボビン3を手で持って紙箱6からインクシート4を取出して、そのままインクシートカセット（図13に示す）に装着する。上記装着要領によれば、インクシート4に直接手が触れることなく装着できる。

【0014】実施例2. なお、上記実施例ではパッケージとして紙箱6を用い、ミシン目6aを切取ることにより開口部を形成するものを示したが、パッケージがプラスチックフィルムを用いて形成されものにおいても、インクシート4に直接手が触れることなく装着できるようにすることができる。即ち、図5ないし図7により説明すると、7は例えば透明ポリエチレンシートで形成されたパッケージであり、7aは引裂き紐である。引裂き紐7aは、図5に示すようにパッケージ7の内側にのり付けされており、引裂き紐7aの両端を引張ることにより、図6に示すように、インクシート4の両側面が当接する部分が引裂かれて開口部7bが形成される。開口部7bを通してインクシート4の巻心5にインクシート用ボビン3を嵌装する。続いて、更に引裂き紐7aを引張ることにより、図7に示すようにパッケージ7が開かれるので、インクシート用ボビン3を手で持ってパッケージ7からインクシート4を取出して、そのままインクシートカセットに装着する。上記のようなプラスチックフィルムのパッケージにおいても、インクシート4に直接手が触れることなく装着できる。

【0015】実施例3. この実施例は、紙箱で形成されたパッケージにおいて、最初からインクシートの両側面が当接する部分に開口部を形成しておくものである。即ち、図8に示すように、パッケージとなる紙箱8は蓋体8aと容器本体8bとにより形成されている。8cは開口部であり、容器本体8bにおいてインクシートの両側面が当接する部分に形成されている。従って、インクシート4が需要者に供給された状態では蓋体8aにより開口部8cは塞がれており、蓋体8aを開くとインクシート4の両端に開口部8cが形成されていることになる。上記のように形成された紙箱8からインクシート4を取出すときは、開口部8cを通してインクシート4の巻心5にインクシート用ボビン3を嵌装する。続いて、インクシート4の両側のインクシート用ボビン3を手で持って紙箱8からインクシート4を取出して、そのままインクシートカセットに装着する。このような紙箱8においても、インクシート4に直接手が触れることなく装着できる。

【0016】実施例4. この実施例は、パッケージが、プラスチックフィルムを用いて形成された内袋と、この内袋を収納する外箱とにより形成されたものである。図9及び図10において、9はプラスチックフィルムを用

いて形成された内袋、10は外箱、10aは外箱に設けたミシン目、11は内袋9に設けた引裂き紐である。インクシート4は内袋9に入れられ、更に、外箱10に収納される。引裂き紐11は外箱10のミシン目10aの一端を通して外箱10の外側に引出されている。上記のように形成されたパッケージからインクシート4を取出すときは、引裂き紐11を引張ることにより、図10に示すように、内袋9と外箱10を同時に引裂いて、開口部（図示せず）が形成される。この開口部を通してインクシート4の巻心5にインクシート用ボビン3を嵌装する。続いて、インクシート4の両側のインクシート用ボビン3を手で持って内袋9及び外箱10からインクシート4を取出して、そのままインクシートカセットに装着する。このパッケージにおいても、インクシート4に直接手が触れることなく装着できる。

【0017】

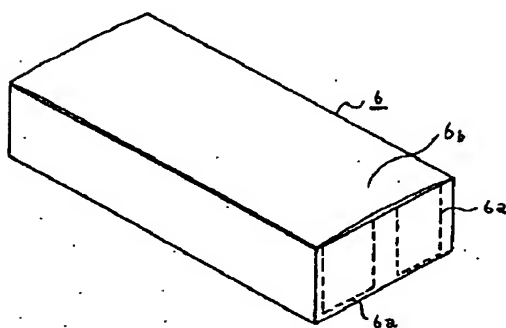
【発明の効果】以上のように、この発明によれば、熱転写用インクシートの両側面が対向する部分を開いて、熱転写用インクシートの両側にインクシート用ボビンを装着し、装着したインクシート用ボビンを手で持って熱転写用インクシートを取出すことにより、熱転写用インクシートを直接手で持つことなくインクシートカセットに装着できる。このため、熱転写用インクシートに手の脂や塵埃が付着したり、しわあるいはきずが入るなどの問題点が解消される。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の一実施例1であるインクシートのパッケージを示す斜視図である。

*

【図1】



*【図2】 図1のパッケージを開いた状態を示す斜視図である。

【図3】 インクシート用ボビンを嵌装する状態の説明図である。

【図4】 インクシートを取出す要領の説明図である。

【図5】 実施例2のパッケージを示す斜視図である。

【図6】 実施例2のパッケージの両側を開いた状態の斜視図である。

10 【図7】 実施例2のパッケージの全体を開いた状態の斜視図である。

【図8】 実施例3のパッケージを示す斜視図である。

【図9】 実施例4のパッケージを示す側断面図である。

【図10】 実施例4のパッケージを開く要領の説明図である。

【図11】 従来のパッケージからインクシートを取出す説明図である。

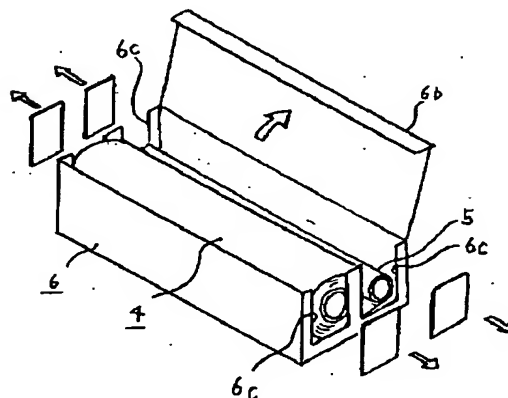
【図12】 従来のパッケージから取出したインクシートにインクシート用ボビンを嵌装する説明図である。

20 【図13】 インクシートカセットの分解斜視図である。

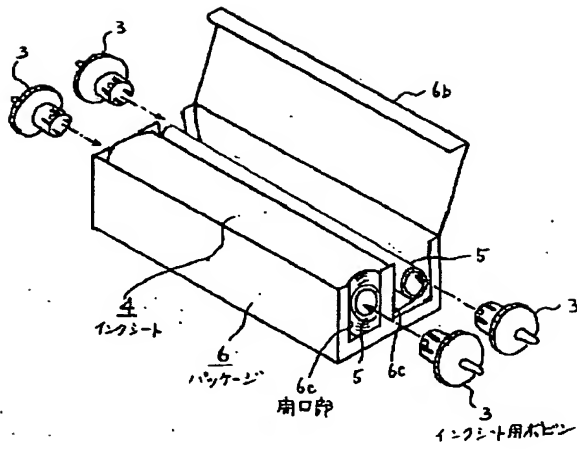
【符号の説明】

3 インクシート用ボビン、4 熱転写用インクシート、5 巻心、6 紙箱のパッケージ、6a ミシン目、6c 開口部、7 ポリエチレンシートのパッケージ、7a 引裂き紐、8 紙箱のパッケージ、9 プラスチック製内袋、10 外箱、11 引裂き紐。

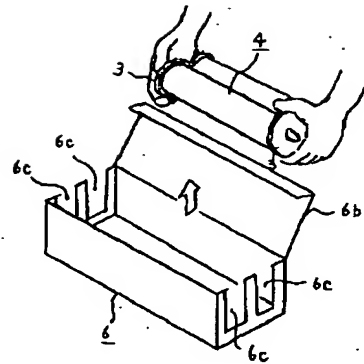
【図2】



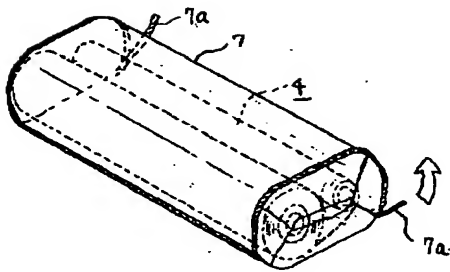
【図3】



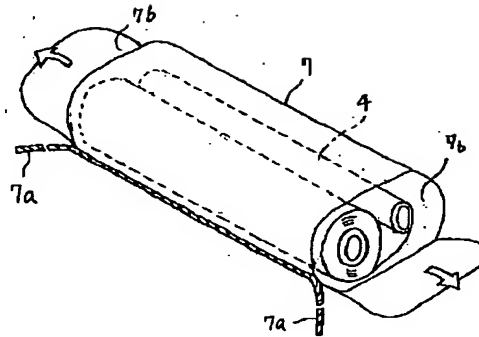
【図4】



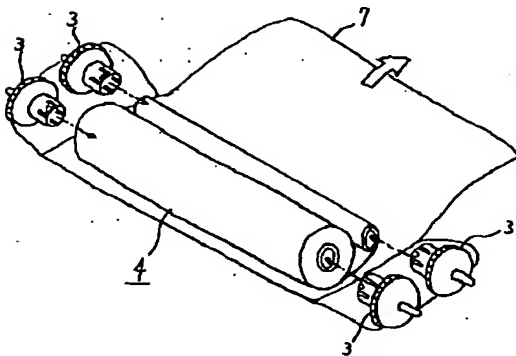
【図5】



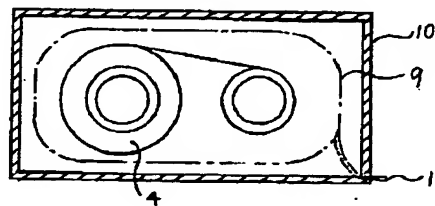
【図6】



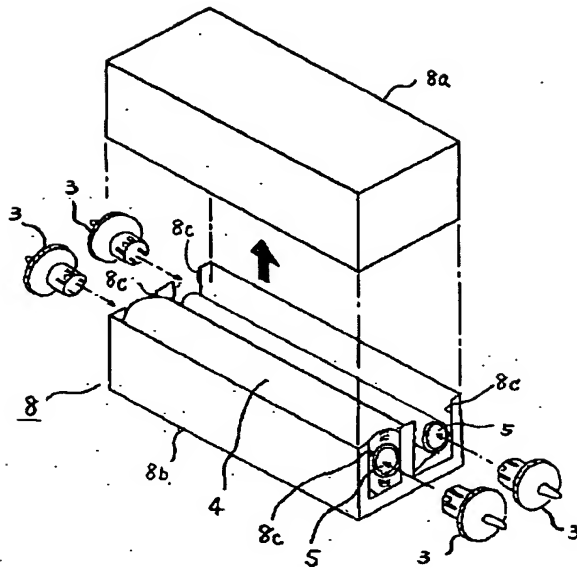
【図7】



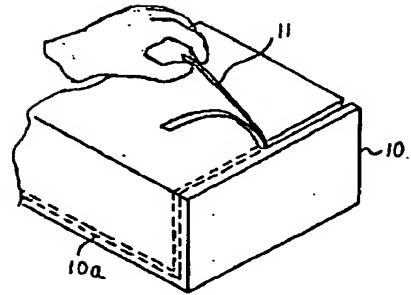
【図9】



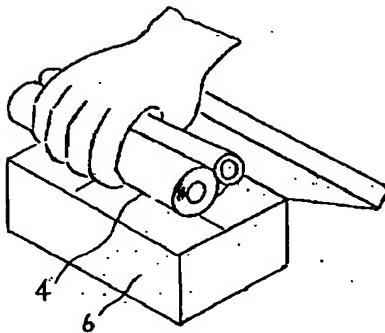
【図8】



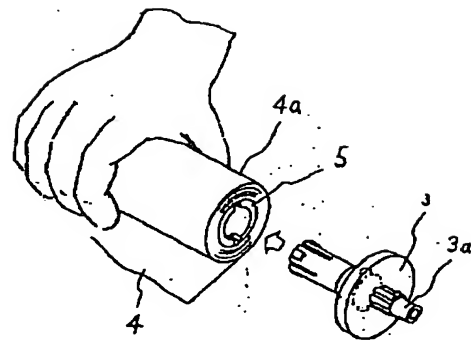
【図10】



【図11】



【図12】



【図13】

